

南知多町立中学校再編実施計画 (案)

南知多町 教育委員会

令和3年10月

1 これまでの経過

2 南知多町立中学校再編実施計画（案）

1 これまでの経過（その1）

- ▶ 平成18年2月 「中学校は全校を統合して1校を設立（設置）。小学校は各地区に1校ずつ設立（設置）して5校とする」とした「学校統廃合の基本構想」を策定
- ▶ 平成20年4月 豊浜地区の豊丘小学校を豊浜小学校に統合
- ▶ 平成21年4月 内海地区の山海小学校を内海小学校に統合
- ▶ 平成23年11月 内海小学校、豊浜小学校で学校統合を経験された子の保護者を対象にアンケートを実施（学校統合の検証）

1 これまでの経過（その2）

- ▶ 平成31年 3月 「学校規模の適正化に関する基本的な考え方」を策定
- ▶ 令和元年 7月 学校規模適正化について、保護者を対象にアンケートを実施
- ▶ 令和元年 8月 学校規模適正化について、教職員を対象にアンケートを実施
- ▶ 令和元年10月～11月 地域住民を対象に意見交換会（5地区）を開催
- ▶ 令和2年 2月～3月 大井小、師崎小、篠島小中、日間賀島小中それぞれのPTA役員を対象に意見交換会を開催

1 これまでの経過（その3）

- ▶ 令和2年6月～9月 南知多町立小中学校規模適正化懇談会（全5回）を開催
- ▶ 令和2年7月 児童生徒アンケート「これからの南知多町の小中学校を考える調査」を実施
- ▶ 令和2年9月～10月 保護者を対象に意見交換会（5地区）を開催
- ▶ 令和2年11月 住民説明会開催
- ▶ 令和2年11月 「南知多町立小中学校 適正規模・適正配置基本計画（案）」のパブコメ実施
- ▶ 令和2年12月 師崎地区保護者意見交換会開催
- ▶ 令和3年1月 師崎地区住民説明会開催
- ▶ 令和3年1月 「南知多町立小中学校 適正規模・適正配置基本計画」（令和3年1月27日策定）
- ▶ 令和3年3月 大井小学校と師崎小学校を統合し、統合校を令和4年4月に師崎小学校の位置に開校
- ▶ 令和3年4月 「南知多町教育大綱（南知多町教育振興基本計画）」を策定

1 これまでの経過（その4）

- ▶ 令和3年7月 具体的な実施方法を提示した町の〈原案〉について何う保護者アンケート「南知多町立中学校再編に向けてのアンケート調査」を実施
- ▶ 令和3年8月 「南知多町立中学校再編実施計画（素案）」を作成
- ▶ 令和3年9月 保護者を対象に意見交換会（5地区）を開催
- ▶ 令和3年9月 大井・師崎小学校の統合校の校名を「みさき小学校」に決定
- ▶ 令和3年10月 「南知多町立中学校再編実施計画（案）」のパブコメ実施
- ▶ 令和3年10月 住民説明会（2回）

2 南知多町立中学校再編実施計画（案）

1 はじめに

- ▶ 第7次南知多町総合計画（令和3年3月策定）
将来イメージ：「絆・選ばれる理由があるまち」
- ▶ 教育分野：児童生徒数の減少が続く中、子どもたちにとってよりよい教育環境を整備するため、小中学校の再編（学校統合）について協議・検討
- ▶ 「南知多町立小中学校 適正規模・適正配置基本計画」（令和3年1月27日策定）
- ▶ 大井小学校と師崎小学校を統合し、統合校を令和4年4月に開校
- ▶ 中学校の適正配置：令和3年7月、町の〈原案〉を提示し保護者のご意見を伺う（「南知多町立中学校再編に向けてのアンケート調査」）を実施した
- ▶ 令和3年9月、町内5地区で「中学校再編に向けての保護者意見交換会」を開催、「アンケート調査結果」と「南知多町立中学校再編実施計画（素案）」について説明、意見交換
- ▶ 「南知多町立中学校再編実施計画」は、保護者意見交換会などでの意見を基に、町立中学校再編（学校統合）について具体的な取組みを定めるもの

【参考資料】（一部抜粋）※町公式ホームページに掲載しています。

- ・南知多町立小中学校 適正規模・適正配置基本計画（令和3年1月27日）
- ・南知多町立中学校再編に向けてのアンケート調査（保護者アンケート）、参考資料
- ・南知多町立中学校再編に向けてのアンケート調査結果報告書

○中学校再編に向けた保護者アンケートについて

①「南知多町立小中学校 適正規模・適正配置基本計画」（令3.1.27策定） における中学校の適正配置計画

【第1段階】

町内の中学校を令和5年度以降、できる限り早い時期に統合する。
統合校については、段階的な統合も含め、今後、地域の理解を得たうえで
検討を進めていくものとする。

【第2段階】（第1段階の取組後、状況を見ながら第2段階に移行）

町立中学校を1校とするための統合の検討を進める。
統合中学校校舎の状況を検証し、新校舎設置の準備をする。新校舎の設置
場所や規模、内容等については、今後の社会状況、各地域や学校の状況等を
総合的に検討し、保護者等の理解を得ながら協議していく。

○中学校再編に向けた保護者アンケートについて

▶ アンケートで提示した〈原案〉（令和3年7月）

（1）統合の時期と場所

【第1段階】

令和5年4月に、現内海中の校舎を活用して統合中学校（仮称）を設置する。

【第2段階】

令和10年3月までに、統合対象校に関わらず現豊浜中用地に新校舎を建設し、統合中学校（仮称）を開校する。

（2）統合対象校

- 内海中、豊浜中、師崎中を統合する。
- 篠島中、日間賀中については、あくまで保護者の理解が得られた段階で統合する。理解が得られれば第1段階で統合する。

※ 小中学校在学中に、師崎中学校区の皆さんが統合による移動を2回経験しないようにするため、令和5年度での統合を目指しています。

○中学校再編に向けた保護者アンケートについて

▶ アンケートで提示した〈原案〉について（その1）

- ・できるだけ早い時期での統合を実現するために、既存の校舎を活用する。
- ・町内の多くの校舎は建築年が古く、近い将来建て替えが必要になるため、新校舎建設を進めるが、仮校舎の建設が不要な2段階の統合とする。

（1）統合の時期

- ・既存の校舎を活用し、できる限り早い時期での統合を実現するため、現時点で統合の準備が可能な令和5年4月を第1段階の統合の時期とする。
- ・新校舎建設には期間を要するため令和10年3月までに建設する。

○中学校再編に向けた保護者アンケートについて

▶ アンケートで提示した〈原案〉について（その2）

（2）統合校の場所

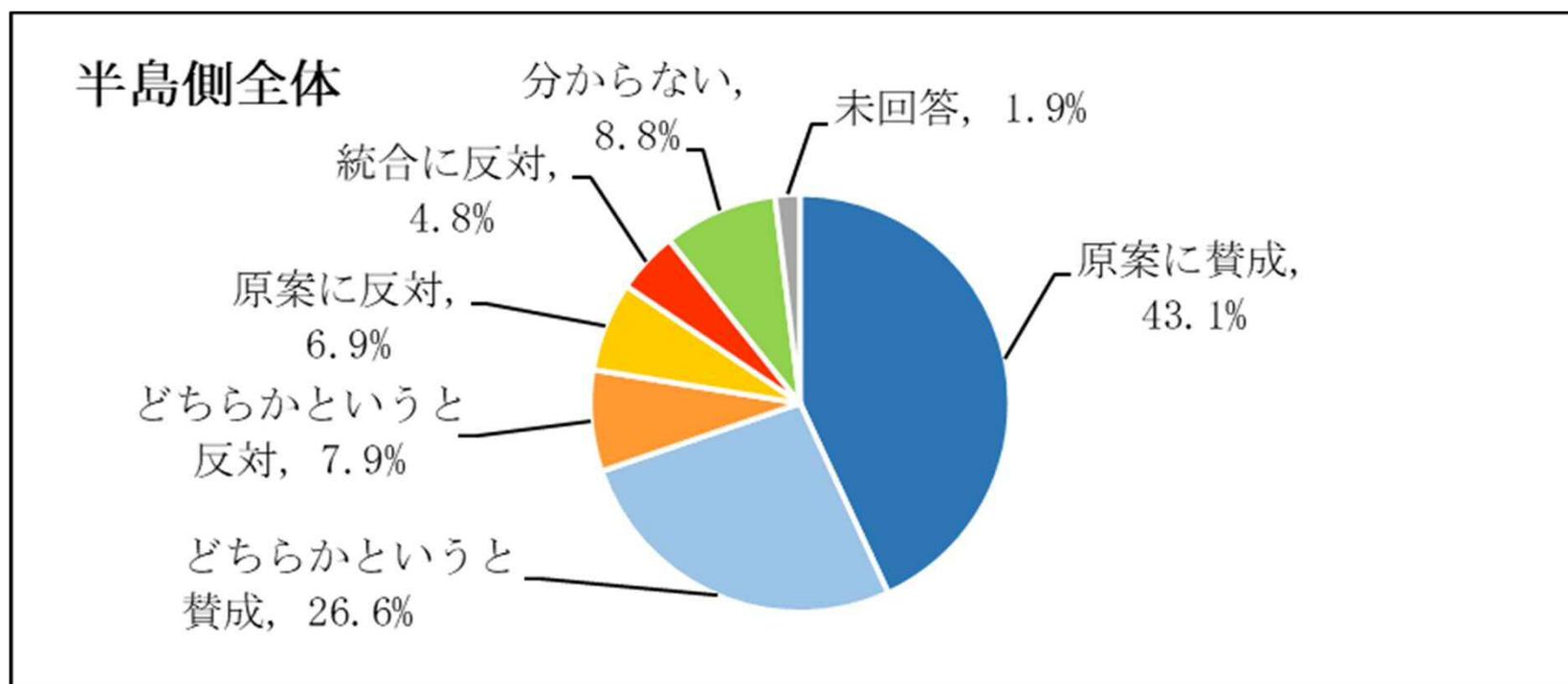
- 第1段階での統合校位置の候補としては、既存の校舎を活用するため、両島を除き、内海中、豊浜中、師崎中があるが、師崎中は教室数の不足と統合小学校設置場所候補になる可能性があること、豊浜中は、最終的な統合中学校と考えていることから、内海中とする。
- 第2段階においては、両島も含めたすべての地区からの生徒の通学や保護者の利便性を重視し、地理的に本町中心に近い現豊浜中の位置に新校舎を建設する。
なお、現豊浜中用地については、新校舎建設位置を工夫し、用地取得を検討するなどして、できるだけ広いグラウンドになるように努める。
- 「新しい場所への建設」（「大字豊丘地内」（旧新運動公園：南知多道路豊丘ICから羽豆岬に延びるバイパスの馬道交差点から北西の位置）の町所有の土地）については、市街地から離れた位置にあるため、日頃の地域住民の方などとの連携、公共交通（海っ子バス）へのアクセス、また、町の防災拠点としての用途、両島観光客臨時駐車場としての用途などの代替地の確保などの課題があり、建設においては、地盤の性質による制限、周辺道路整備の課題があるため候補としなかった。

（3）統合対象校

- 半島側3中学校の早期統合を望む声が、アンケート調査結果、学校規模適正化懇談会、地区意見交換会などで多くあった。
- 篠島中と日間賀中については、保護者の皆様のご理解をいただいた段階で統合する。

○中学校再編に向けた保護者アンケート調査結果抜粋

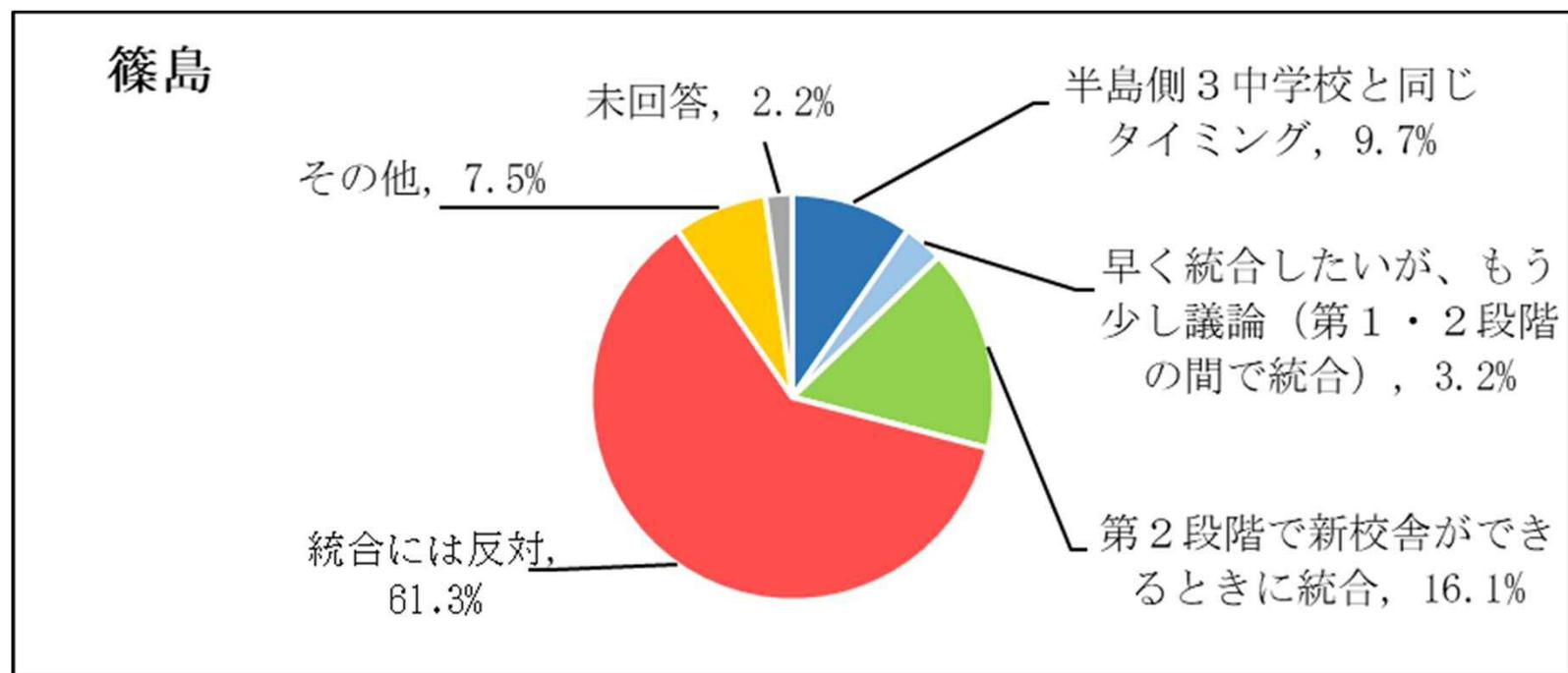
(ア) <原案>に対する半島側の保護者の方の回答



詳しくは「南知多町立中学校再編に向けてのアンケート調査結果報告書」をご覧ください。

○中学校再編に向けた保護者アンケート調査結果抜粋

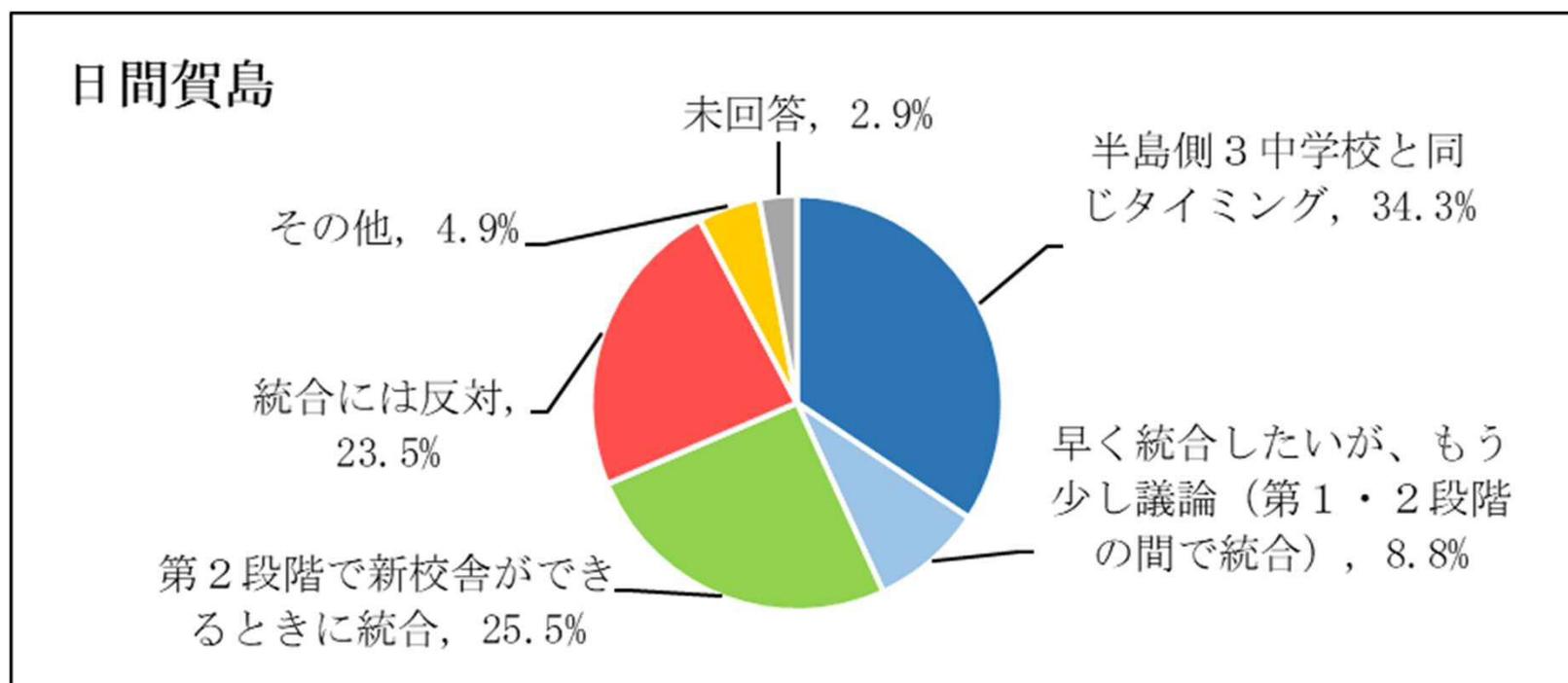
(イ) 統合のタイミングについて、両島の保護者の方のみ回答



詳しくは「南知多町立中学校再編に向けてのアンケート調査結果報告書」をご覧ください。

○中学校再編に向けた保護者アンケート調査結果抜粋

(イ) 統合のタイミングについて、両島の保護者の方のみ回答



詳しくは「南知多町立中学校再編に向けてのアンケート調査結果報告書」をご覧ください。

○日間賀島地区における中学校統合時期に関する 中学生以下の子を持つ保護者の投票結果について

- 1 対象者 日間賀島にお住いの小中学校の児童生徒、保育所の園児、未就園児の子を持つ保護者
- 2 投票期間 令和3年9月22日（水）～9月30日（木）
- 3 集計の結果 （問：「令和5年4月に統合する」との考えに賛成か）

項目	配布数	回収数	賛成	反対	白票
票数	121	111	62	45	4
割合(%)	—	100.0	55.9	40.5	3.6

賛成：令和5年4月に統合
反対：令和10年4月までに統合

2 目指す学校教育と育てたい児童生徒像

郷土に誇りをもち、心豊かに自ら学び、心身ともに健康でたくましい児童生徒

・義務教育

児童生徒の能力

社会的自立

社会の形成者としての
資質

・学校規模

一定規模の児童生徒
集団

バランスのとれた教
職員集団

・学校施設

教育施設

地域コミュニティの
核（交流の場、防災、
まちづくりなど）

【参考資料】 南知多町教育大綱（南知多町教育基本計画）（令和3年4月）

3 <実施計画>の骨子

▶ <実施計画>(案)

(1) 統合の時期と場所

【第1段階】

令和5年4月に、現内海中の校舎を活用して統合中学校（仮称）を開校する。

【第2段階】

統合対象校に関わらず現豊浜中用地に新校舎を建設し、令和10年4月に、統合中学校（仮称）を移設する。

(2) 統合対象校

- 第1段階で、内海中、豊浜中、師崎中、日間賀中を統合する。
- 篠島中については、第2段階での統合を目指して協議を継続し、保護者の理解が得られた年度を基に統合する。

※ できる限り早い時期での統合を実現するとともに、工事による中学生への負担を軽減するため、仮校舎を建設せずに既存の校舎を活用する2段階での統合を実施します。

4 中学校再編について

(1) 中学校再編委員会の設置

中学校の統合が決定された場合、速やかに「中学校再編委員会」を設置

(ア) 中学校再編委員会

- ①各地区の保護者を代表する者
- ②学校の教職員を代表する者
- ③各地区の区長会を代表する者
- ④その他教育委員会が適当と認める者

(イ) 再編検討部会

中学校再編委員会の中に中学校再編検討部会を設置

4 中学校再編について

※ 中学校再編に係る検討すべき事項

- 学校名、校歌、校章に関すること
- 学校と地域の連携に関すること
(コミュニティースクールについて検討します)
- 生徒、教職員等の交流事業等、学校行事に関すること
- 部活動に関すること
(統合前の段階から、学校や保護者等の理解が得られれば、合同チームで大会に参加できる体制づくり、地域の方の参加・協力体制づくりをします)
- 校務分掌、学級編制、教室配置等、教務に関すること
- 通学方法に関すること
- 校則、制服、体操服等に関すること
(制服について検討します)
- 式典行事の計画等に関すること(閉校式・開校式)
- 移転計画に関すること(学校の歴史等の継承、備品確認等)
- PTA組織編成(規約・役員を選出等)に関すること
- 学校行事への保護者の参加に関すること
- 新校舎建設に関すること
- その他必要と考えられること

4 中学校再編について

(2) 再編に向けての生徒に対するケア

統合に伴う不安を軽減し、新しい学校生活を円滑に迎えられるよう、関係校の教職員と協議していく。

(ア) 再編前

- ・ 生徒の不安を軽減し、再編後の学校教育の充実を図るための前中学校から統合校への教員の異動や生活支援員の配置
- ・ 事前交流事業（合同授業、合同行事など）
- ・ 合同部活動の実施
- ・ 学校見学や保護者の事前協力活動

(イ) 再編後

- ・ 生徒や保護者の意見を聴くことができる体制づくり
- ・ 不安や悩みを抱える生徒との相談などの対応を行うスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置など
- ・ 特別支援学級生徒のケア

4 中学校再編について

(3) 統合後の通学

- 徒歩通学、自転車通学、路線バス、スクールバスの通学範囲（目安）
 - ・自宅から中学校までの距離が1.5 km未満・・・徒歩
 - ・1.5 km以上6 km以内・・・自転車通学または路線バス
 - ・6 km超・・・スクールバスまたは路線バス、詳細は再編委員会で協議

- スクールバスに遅れた時や自転車通学生が雨天の時、休日の部活動時に路線バスの利用を検討
- スクールバスの運行方法・ルート等は、保護者及び学校を交えて、再編委員会で検討
- 路線バスは、利便性が増すよう公共交通部局と調整していく

- 両島生徒の朝の通学はチャーター便を運航するよう調整、町から通学定期券を交付し、帰宅時、遅刻・早退時等は、定期船の利用とする

- 生徒の体調不良等による早退等については、保護者に連絡し、基本的には迎えに来ていただくこととなる。ただし、両島生徒が早退する場合、学校職員が付き添って医療機関で合流するか、師崎または島の渡船施設までお越しいただく。

4 中学校再編について

(4) 具体的な通学方法（経路など、より具体的な内容は再編委員会で協議）

○ 第1段階：統合中学校（現内海中）までの通学方法（その1）

- ・内海地区
徒歩、内福寺など一部は自転車又は路線バス
- ・山海地区
自転車又は路線バス
- ・豊浜・豊丘地区（R5 77人 マイクロバス最大3台（定員28人）等）
スクールバスまたは路線バス（片道15～25分）
- ・大井・片名・師崎地区（R5 74人 マイクロバス最大3台等）
スクールバスまたは路線バス（片道20～30分）
- ・日間賀島地区（R5 47人 業者委託大型バス1台）
高速船・スクールバスまたは路線バス（片道35～45分） 東港—西港—師崎港

4 中学校再編について

(4) 具体的な通学方法（経路など、より具体的な内容は再編委員会で協議）

○ 第1段階：統合中学校（現内海中）までの通学方法（その2）

※下校時は、スクールバスと路線バスの併用を検討。

下校時の予定人数でバスの台数、部活動のあるなしなどで便数を決める。
一斉下校の場合は、登校時と同じ形を想定している。

※両島生徒の下校時は、定期船の利用とする。

一斉下校など混雑が予想される場合の臨時便での対応など、
また、待合の混雑の対応について名鉄海上観光船と協議していく。

※休日の部活動などは、路線バス、定期船の利用を基本と考えている。

4 中学校再編について

(4) 具体的な通学方法（経路など、より具体的な内容は再編委員会で協議）

○ 第2段階：新統合中学校（現豊浜中）までの通学方法

- ・内海・山海地区（R10 87人 マイクロバス最大4台）
スクールバスまたは路線バス（片道15～25分）
- ・豊浜・豊丘地区
徒歩、一部は自転車又は路線バス
- ・大井・片名・師崎地区（R10 55人 マイクロバス最大2台）
スクールバスまたは路線バス（片道15～20分）
- ・篠島地区（R10 40人 業者委託大型バス1台）及び
日間賀島地区（R10 54人 業者委託大型バス1台）
高速船・スクールバスまたは路線バス（片道30～40分）篠島―日間賀島西港―師崎港

4 中学校再編について

(5) 防災・安全対策

地震・津波対策、交通事故防止、不審者対策

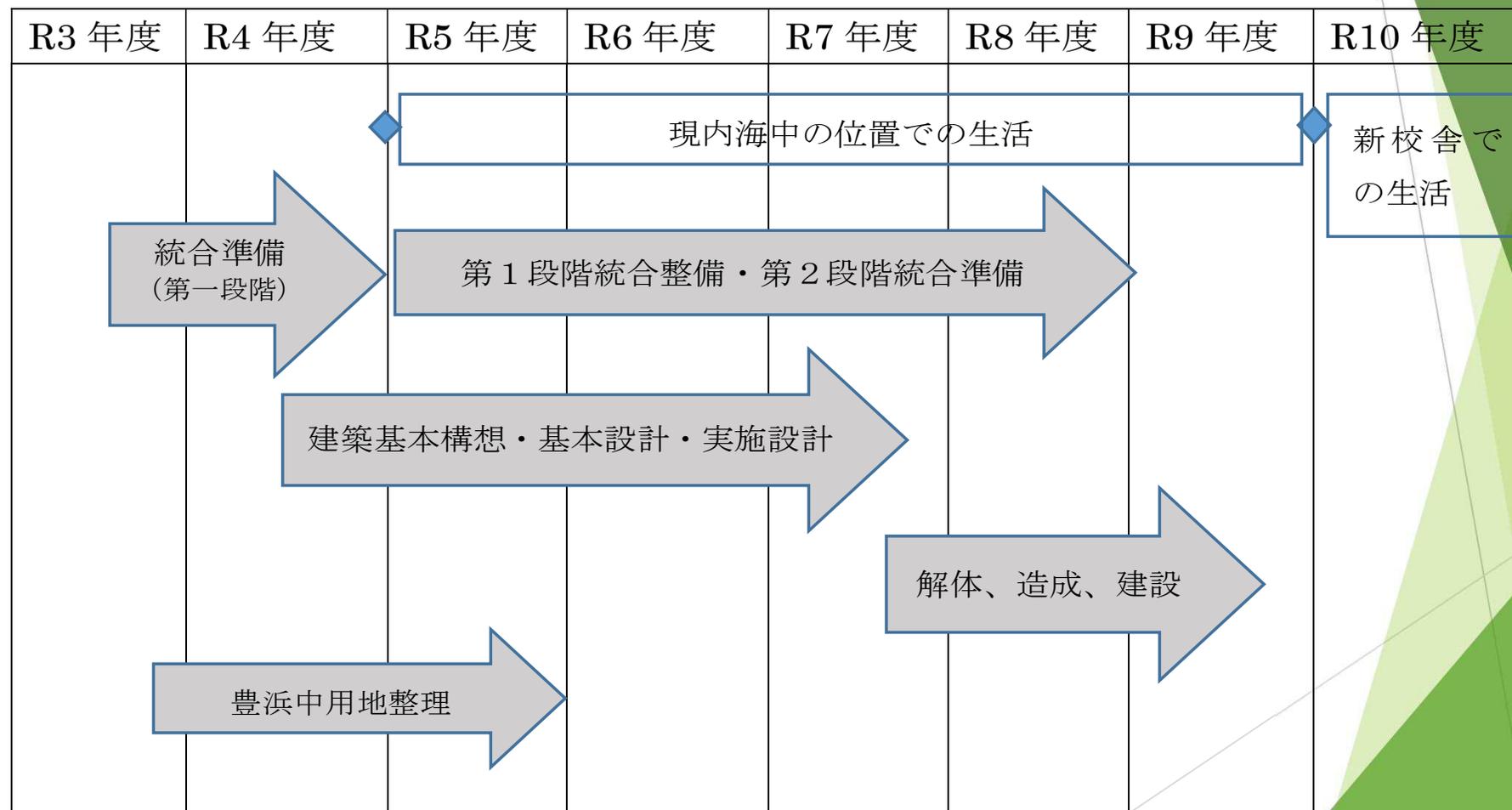
【両島生徒の災害時の対応】

- ・ 定期船等が欠航のときは、家庭で授業を受けられる手立てを準備
(遠隔授業施設の整備、学習課題の計画的運用など)
- ・ 登校後に災害発生の場合は生徒の安全確保を最優先し、宿泊対応も含めて準備
(詳細については再編委員会で検討します。)

・ その他

- ・ 両島の保護者が学校行事に参加する場合の乗船料負担について検討
- ・ 保護者懇談会などを島内で開催

5 新校舎の建設について



6 公共施設の再配置に向けた取組みの推進

- ▶ 多くの公共施設の老朽化が進行し、修繕や建替えの必要性が生じている
- ▶ 人口減少が続いている
- ▶ 人口に見合った規模や、配置について再検討が求められる
- ▶ 持続可能な行財政運営
- ▶ 学校統合が進んだ場合、閉校となる学校施設の有効活用等について検討を進める必要
- ▶ 公共施設の再配置計画を検討（複合施設化、民間活用を含めた跡地利用など）
- ▶ 南知多町の将来のランドデザイン

ご視聴いただき
ありがとうございました。



南知多町制施行60周年
Since 1961